

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>(1) 有意義な高校生活を送ることができるよう教育課程編成に工夫を凝らし、自ら学ぶ態度と、基礎学力の習得及び希望進路の実現に向けた学力向上に取り組む。</p> <p>(2) 生徒の『主体的・対話的で深い学び』につながる授業改善に取り組む。</p>	<p>(1) 『学び直し』の科目と『総合的な探究の時間』の在り方について検討し、教材作成に取り組む。</p> <p>(2) 組織的な授業改善により、授業の質の向上とともに教材の検証を図る。</p>	<p>(1) プロジェクトチームを編成し、『総合的な探究の時間』の目標に沿って、キャリア教育と関連させ構築する。『学び直し』科目の全体像の検討とそれに基づいた教材の見直しと評価方法等を検討する。</p> <p>(2) 生徒の『主体的・対話的で深い学び』を実現できる具体的なテーマを定めてチームで授業づくりを実践し、教材の検証等も含み、職員全体で協議する。</p>	<p>(1) 『総合的な探究の時間』はキャリア教育と関連させて構築することができたか。『学び直し』科目の全体像の検討とそれに基づいた教材の見直しと評価方法を検討できたか。</p> <p>(2) 年間を通して、生徒の『主体的・対話的で深い学び』を意識した授業づくりが行われたか。生徒による授業評価アンケートで「授業の中でできるようになったことを実感することができた」が80%以上の肯定評価がなされたか。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>(1) 規範意識・社会性を涵養し、自らの判断で社会的な行動をとれる生徒の育成を目指す。</p> <p>(2) 個に応じた生徒指導・支援を充実させる。</p>	<p>(1) 集団指導および個別の指導により、社会のマナーやルールを守り、公共の場で常識的な振る舞いができる生徒を育成する。</p> <p>(2) 個々の生徒の理解に努め、それらに合った支援策を実践していく。</p>	<p>(1) ・SSE (ソーシャルスキルエデュケーション) の授業でのエクササイズ体験等により、自他を尊重する気持ちと社会性を涵養する。 ・様々な場面で、公共マナーの遵守を呼びかける。 ・学年指導、特別指導において個々の問題に応じた指導を心がける。</p> <p>(2) ・個に応じた生徒の支援をチームとして対応し、関係職員間で生徒の個別理解と情報共有を行う。 ・SC, SSW, 多文化教育コーディネーターなどの専門性を活かした生徒支援を行う。</p>	<p>(1) ・効果的にSSEを実施できたか。また、SSEの実践を通じて職員の理解が深まったか。 ・様々な場面で、公共マナーについて呼びかけられたか。 ・学年指導、特別指導において個々の問題に応じた指導ができたか。</p> <p>(2) ・生徒が抱える課題を関係職員で情報共有できたか。 ・支援をチームとして行うことができたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	(1) 3年間を見通した計画的な進路指導の実践により、生徒一人ひとりの進路希望の実現を支援する。 (2) 生徒活動の自主性・主体性を重視することで、生徒が自律的に自立できることをめざす。	(1) 各学年の進路目標に合わせた年間計画を作成する。 (2) クラス交流会・文化祭等の生徒が主体となる行事運営を通して、自律性・リーダー性を育むとともに、生徒間の親睦を深め、達成感、自己肯定感を高める。	(1) 各学年の進路目標を達成するためのガイダンスや講演会等を計画する。 (2) 生徒が主体的に行事に取り組めるように教員が支援する。	(1) ガイダンスや講演会等が、適切な時期に適切な内容で計画できたか。 (2) 生徒が主体的に行事運営を進められたか。行事後に行う生徒アンケートで「達成感、自己肯定感が高まった」の肯定評価が80%以上達成できたか。					
4 地域等との協働	学校と地域相互の教育力を生かし、地域と連携した学校づくりを推進する。	(1) 本校の活動や取組など、「今の釜利谷」を広く地域に発信する。 (2) 地域社会との協働を図る。教育活動において、PTAと持続可能な連携を行う。	(1) 学校HPの項目をわかりやすく整理し、行事が行われるたびに、頻繁に更新する。 (2) 釜利谷サポートチームや生徒会、部活動の生徒が参画し学びを通して地域社会等との連携・協働を図る。 ・PTA活動を広く周知し、持続可能な連携を行う。	(1) 学校HPの項目をわかりやすく整理し、職員にHPへの掲載を呼びかけ、随時更新できたか。 (2) 学びを通して家庭、地域との協働ができたか。					
5 学校管理 学校運営	すべての職員が職場環境を含めた様々な変化に柔軟に対応し、積極的に取り組める持続可能な組織づくりをすすめていく。	(1) 学校全体で教育環境に対する課題を共有し、組織的・計画的に改善していく体制を整える。 (2) 教員の「働き方改革」を推進しながら、生徒と向きあう時間の確保をはかる。	(1) 施設設備を適正に管理する。特にICTの環境を整え、校務の効率化を図る。また、安全安心で円滑な学校生活を送れるような校内環境を維持する。防災対策の充実を図る。 (2) 勤務時間内の会議の徹底を図る。そのため事前準備や情報共有の仕方を工夫する。	(1) 施設設備を適正に管理したか。ICT環境を整え、校務の効率化は図られたか。実態にあった防災訓練ができたか。 (2) 勤務時間に会議を終えることができたか。					